

まつまえ

議会だより

題字：松前中学校1年 おがわ 小川 さや 爽椰さん

こちらは防災まつまえです

～松前中学生職場体験～

第3回 定例会

- ・決算審査特別委員会…………… P2～4
- ・定例会で決まったモノ・コト…………… P5
- ・一般質問は5人の議員が登壇…………… P6～10
- ・議会トピックス…………… P11
- ・議会日誌から・編集後記…………… P12

No. 125

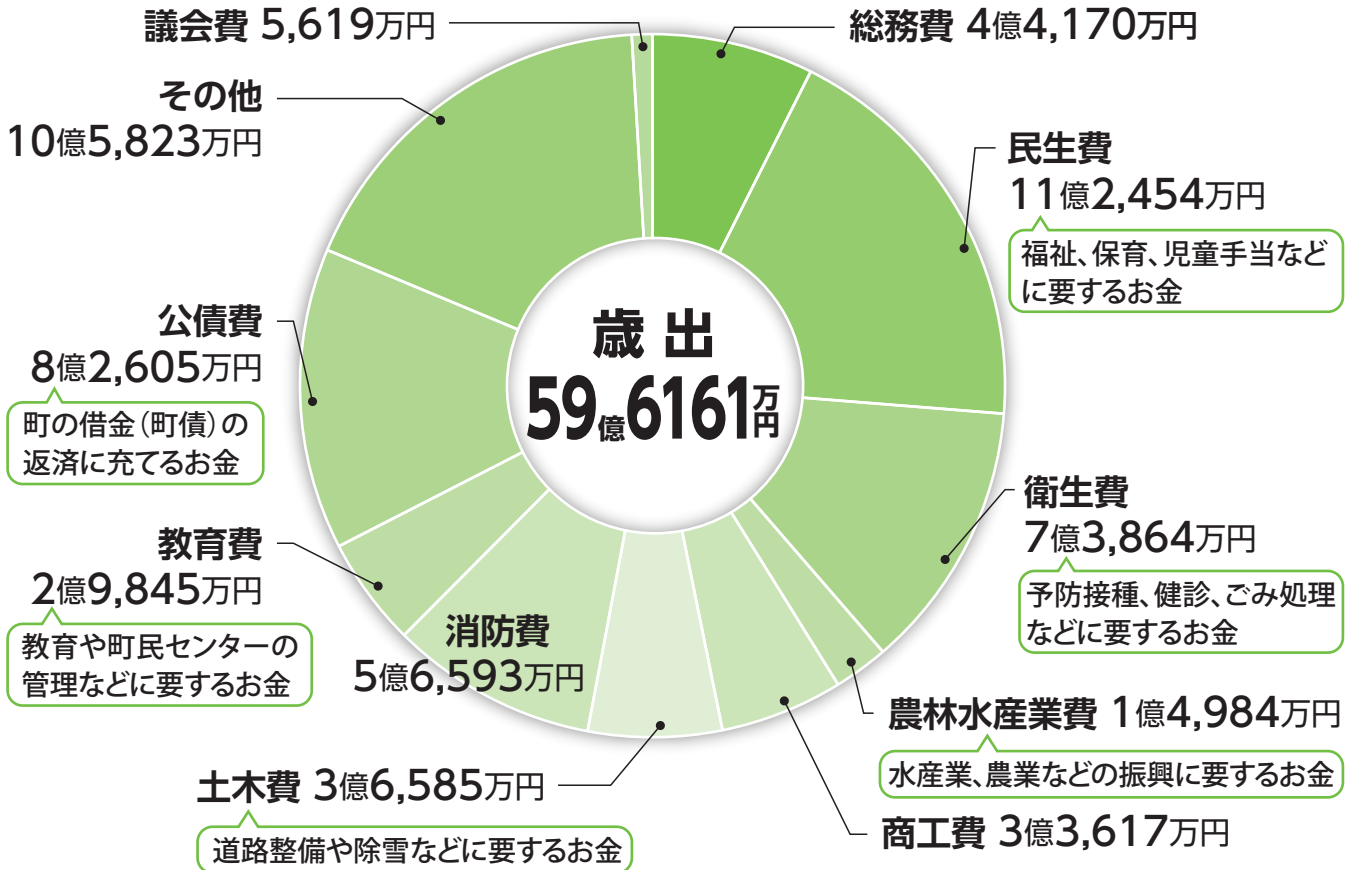
令和5年11月1日発行

こちらから松前町議会の
HPを閲覧できます。



を慎重審議!

決算 審査



結びに、令和4年度の決算は、3億7,820万7,504円の黒字で終了した。財政調整基金からの取り崩しはなかったものの、自主財源が乏しい状況は変わらないことから引き続き厳しい財政運営が続いている。今後においても、人口減少の進行などに伴う町税や地方交付税の減少のほか、高齢化の進展による社会保障関係経費の増加が見込まれるなど、一段と厳し

監査委員の意見

令和4年度決算は、議長及び議会選出監査委員を除く全議員で構成する決算審査特別委員会(梶谷康介委員長)に審査付託され、一般会計ほか各会計決算認定について審査報告があり、いずれの会計も委員長報告のとおり認定されました。



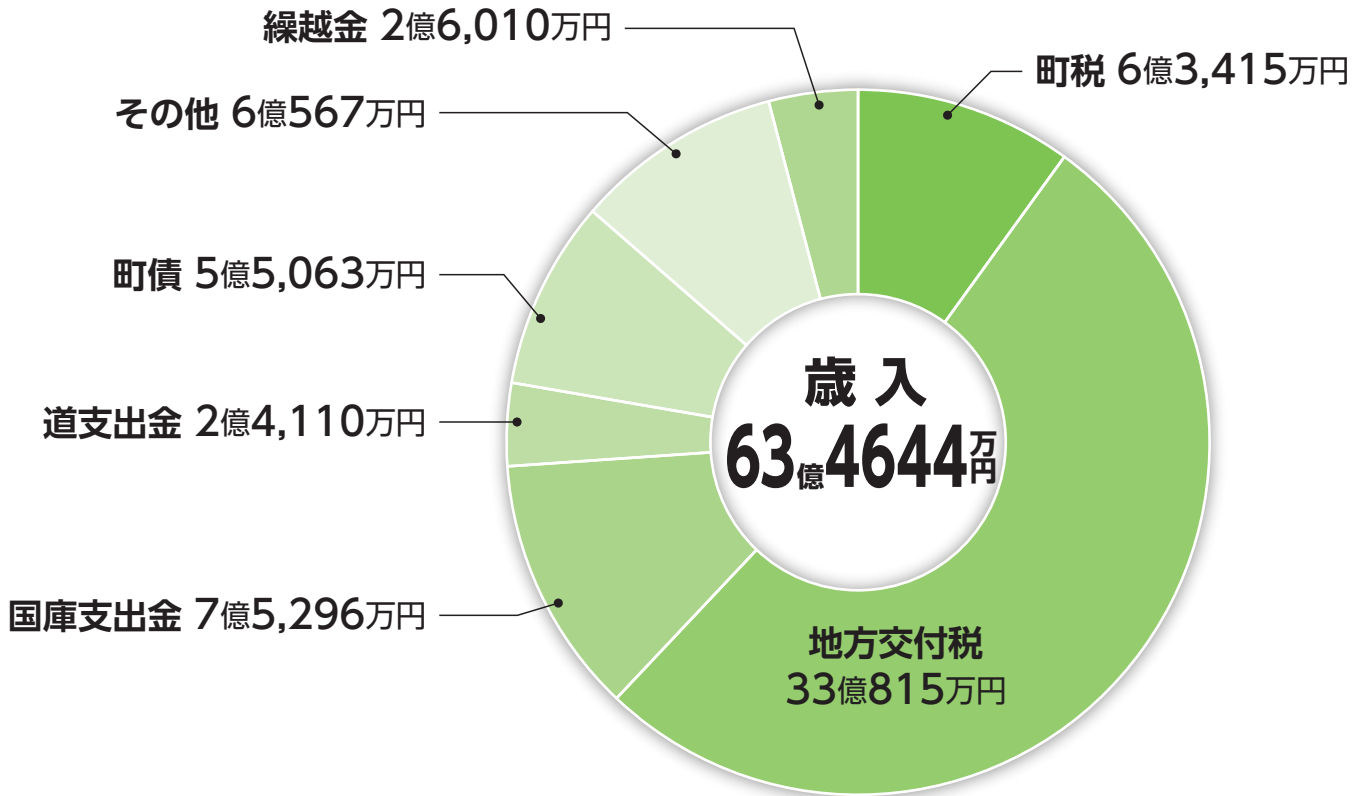
梶谷委員長



飯田副委員長

さを増すものと予想され、加えて物価高騰の影響も思料される。このことから、行財政改革のさらなる推進を図り、各種事業や施策の実施にあたっては、経済性・効率性・即効性に念頭をおき、様々な視点から事業の評価を行い、限られた人材・財源のなか、町民福祉の維持・増進に努められ、「最少の経費で最大の効果」を挙げるよう望むものである。

令和4年度決算



令和4年度各会計決算額

| 会 計 別 | 歳 入 | 歳 出 | 差 引 | |
|-----------------------|------------|------------|------------|---------|
| 一 般 会 計 | 63億4,644万円 | 59億6,161万円 | 3億8,483万円 | |
| 国民健康保険特別会計 | 11億2,322万円 | 11億 773万円 | 1,549万円 | |
| 特別 介護 保険 会計 | 保険事業勘定 | 10億7,371万円 | 10億3,164万円 | 4,207万円 |
| | サービス事業勘定 | 1,397万円 | 1,336万円 | 61万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1億3,229万円 | 1億3,115万円 | 114万円 | |
| 水道事業会計 (収益的収入及び支出) | 1億7,933万円 | 1億6,366万円 | 1,567万円 | |
| 病院事業会計 (収益的収入及び支出) | 12億7,277万円 | 13億3,705万円 | △6,428万円 | |

決算 審査

議員の 主な 質疑

沼山 福祉灯油助成事業について、対象者は物価高騰による経済的負担が増している。90万円という所得制限は適正だと思うか

答 物価高により、弱者と言われる人たちの生活は今まで以上に圧迫されている。状況の変化を見ながら検証をしていきたい。

沼山 ピロリ菌検査と除菌により、胃がんの患者が減ったというデータがあると聞く、今後検査と除菌の推進を進めるべきと思うか

答 町民の健康管理を補助し予防医療の一環として重要だと考えていますので今後取り組んでいきたいと思えます。

福原 火葬場の修繕費が増えてきている。将来的な整備方針はあるのか

答 保守点検業者からは、現状の火葬炉であれば5年は大丈夫だろうと聞いています。ただ、その後については、建替えも含め財政も踏まえながら協議をしていきたいと思えます。



将来を見据えた対策の必要がある。



熊が町中に現れるなど不安な日々が続いている。

堺 ハンターの高齢化が進んでいる。育成は進んでいるのか

答 なり手が少なく、銃の許可を得てもクマに対応できるようになるにはハードルが高く育成が難しいのが現状です。

三浦 流通用運搬整備事業で海水氷用保冷库30個購入に対し補助しているが用途は

答 ホッケの流通がほとんどです。使っていたコンテナが足りないため整備したものです。

飯田 観光客誘致推進事業負担金に以前は実施していた修学旅行誘致は入っていないのか

答 この数年はコロナで動きがない状況でしたが、令和4年度では山形へ行っていきます。今後も継続することと誘致に繋がればと思います。

福原 松前温泉の維持費が増えている。リニューアルも含め、運営について今後の考えは

答 現状として、健康維持、増進、憩いの場として使ってほしいと考えており、大きなりリニューアルは考えておりません。

福原 町営住宅の長寿命化工事は今後も続けるのか

答 古い住宅は建替えを推進していますが、住生活環境も考え、バランスを見ながら対応していきます。

斉藤 清部保育所の老朽化への対策は。改築は検討しないのか

答 国道沿いにあり、交通安全上の危険もあると認識しています。地域の皆さんの話を聞き、職員の知恵を借りながら検討していきます。

齋木 病院決算で薬剤を含んだ診療材料費が増えている。要因は

答 新型コロナウイルスに対応する薬剤や検査試薬の在庫を持ったことが影響しています。

齋木 電子カルテだけでなく、在庫管理などもシステム化するべきでは

答 電子カルテと連動したシステムを構築し、薬剤管理等も行っていく予定です。

議案等審議

決定したコト・決まったモノ

令和5年 第3回 定例会



肉牛改良センターでは子牛を育て農家に販売している。

答 3頭を食肉として売る予定です。経緯としては体調を崩し、農家への販売には即さなかった牛を研修の一環として肥育したものです。

梶谷 肉牛改良センターは繁殖牛の生産が主であると説明を受けている。今回、歳入として肥育による売り上げを計上しているが、どういった経緯があったのか

一般会計補正予算に
関する主な質疑



システム導入により利用者の利便性が向上することを期待する。

答 電子カルテに付随し、調剤機械システムと検体検査オーダーシステムとを連動するような内容になっています。

齋木 電子カルテ導入に併せ、検査科と薬局に対応したシステムを導入する予定はあるか

病院事業会計補正予算に
関する主な質疑

令和5年第3回定例会は9月5日に招集され、一般会計補正予算等について審議し、7日に閉会しました。一般質問は5名の議員が登壇し(6ページ〜10ページ)、町長の考えを質しました。
※行政報告等の詳細は町広報10月号をご覧ください。

①一般質問を聞いてみてどうでしたか

- 専門用語が多く理解しづらい
- 町内のLINE登録者が想像以上に少なく感じた。LINE以外のSNSも考えては
- 定住に関しては、町の現状とかけ離れているように感じた
- 介護サービスの話を聞けてすごく為になり良かった

③議会・議員、その他の意見

- 議場にエアコンがないのは残念。
- 町民はもっと具体的な内容を期待している。
- 一般質問への答弁は町長ではなく、関係課長がするべきものでは
- 議会傍聴の机を増やしてほしい
- 開かれた議会(わかりやすくいつでも見れるように)

議会モニター からの声

②次の議会で一般質問に 取り上げてほしいテーマは

- 公共交通と人口問題
- 洋上風力発電について
- 小・中・高校へのエアコン整備の状況は?
- 公共施設の今後の活用について(廃校舎)
- 単身高齢者の冬の雪かき

ぬま やま ゆう へい
沼山 雄平 議員



問 松前町公式LINEのシステム機能の拡充について

松前町DX推進計画に併せ検討していく — **町長**

町の公式LINEが友達登録者数1万人を超えた。今後は観光情報、イベント案内はもとより、町民参画型のコミュニケーション形成のツールとして幅を広げるの運用が必要と考える。道路等の損傷情報をLINEを通じて通報するシステムや、災害時における通報システムの構築を考えるべきではないか。町民からの情報提供は現場の実態を把握する上でも大きな意味を持つと思われる。緊急気象情報、災害情報、避難所開設情報等リアルタイムで町民に配信することが出来れば防災対策の強化になると考える。また、防災行政無線の放送を聞き逃す場合があることから、LINEを通じて町民に防災行政無線の聞き逃し配信、または同時配信を実施すべきではないか町長に問う。

沼山 松前町の公式LINEが1万人を超えた。観光情報、イベント案内はもと

より、町民参画型のコミュニケーションツールとして、幅を広げて運用する考えは

町長 LINEは、SNS

の中でも、年代を問わず広く利用され、昨今では、各自治体においても、災害情報や生活情報などの配信に用いられている。町民の登録者数が800人程度と低い状況にあることから、多くの町民に利用して頂くためのニーズを把握し、必要に応じたシステム改修を検討したい。

沼山 道路等の損傷情報、カーブミラーの損傷、動物の死骸、危険な箇所をLINEを通じて通報する機能を組み込む考えは

町長 LINEを活用した

情報提供については、利用できれば大変効果的ではあります。現在の体制でも迅速な対応がなされている状況であります。公式LINEによる「通報システム」

の構築については、松前町DX推進計画の中で検討することが最善と考えています。

沼山 災害時における通報システムの構築も考えるべきではないか。また、通報を受けるばかりではなく、迅速かつ正確な情報を町民に伝えることが出来れば、防災対策として果たす役割は大きいと思うが

町長 今後、松前町DX推進計画を検討する中で、情報の錯綜や、混乱を防ぎ、効率の良い災害時の情報管理体制の構築に努めていきたい。

沼山 防災行政無線の放送を聞き逃す場合がある。LINEや防災アプリなどで聞き逃し配信を実施すべきでは

町長 松前町DX推進計画を推進、検討する中で、ご指摘の公式LINEの拡張

や防災アプリの導入、聞き逃し配信も含めてどのような方法が最善であるか検討したいと考えている。

沼山 町民のスマートフォンの普及が進む一方で、機能や操作についていけない町民もいる。町民参画のコミュニケーション、町民参画のまちづくりを支える、という意味においてスマホのこ

町長 デジタル人材の育成、DXコンシエルジュの育成、誰もがデジタルを活用できる環境の整備を重点的に取り組み、幅広く必要となるデジタルの知識を行政も住民も一緒に学び教え合い、地域を支える人を増やしていくことを目指して取り組んでいきたい。



み うら あき お
三 浦 昭 雄 議 員

問 マグロ漁獲枠拡大の要請を！

国際ルールに則り、^の国全体の
漁獲枠拡大を要請することが重要だ

町長

持 持続的漁業の確立にはどのようなにすればいいのか。6月に開催された北海道漁業協同組合長会議で決議された中で、松前町の漁業振興に関係のある3点を町長に問う。

提案、承認が必要で、日本独自で枠を増やすことはできない国際ルールになっていきます。国、道への働きかけは資源の回復傾向を見極め、国全体の漁獲枠拡大を要請することが重要だと考えています。

三浦 松前町の漁業を将来に渡し、持続させていくために、現状に即した資源増大対策が必要になる。現在、マグロ漁はTAC管理により制限を受け、漁業経営がひっ迫している状況にある。調査の結果資源が回復しつつあるとのことだが、漁協または道議会議員などと協力し、漁獲枠の増大を、道や国へ要請するべきではないか

三浦 電気料金の高騰により、漁協の製氷冷蔵庫も設備が古く、令和4年度の電気料金は2千300万円と経営を圧迫しています。この冷蔵庫は漁業者のみでなく幅広い人が利用しており、安心、安全な水産物を供給するため、今後の電気料金も含め、新機材の導入などの支援の考えはあるか

町長 太平洋のクロマグロは国際条約であるクロマグロ委員会の決定を踏まえ、平成30年から資源管理法に基づく漁獲可能量(TAC)制度に移行されています。漁獲枠の増大には、中西部太平洋マグロ類委員会への

町長 電気料金高騰により、製氷冷蔵事業やスルメなどの水産加工が厳しい状況にあることは理解しています。町としてはスルメ等加工業者への支援を行ってきまして、漁協の規模に見合った製氷冷蔵庫への更新のために、国の制度を活用しな

がら支援策を検討しているところですが。

三浦 次世代に向けた漁場環境保全対策として、洋上風力の設置、稼働による影響や漁場環境保全のために町独自の協議会を設置するべきではないか

町長 8月21日に、松前町脱炭素再生可能エネルギー



漁獲制限により資源回復傾向にあるが枠が増えなければ漁業経営はひっ迫し続けてしまう

推進協議会を設立、発足したところですが。この協議会では漁協が考える協議策などを情報共有し、各団体にも理解を深めてもらう場として考えているところです。また、法定協議会は設置されていませんが、近々設置されると聞いていますので洋上風力の促進区域に選定されるよう積極的に取り組んでいきたいと思っております。

い き み や た か ひ ろ
勇 谷 鷹 宇 議 員



問 ▶ コンパクトシティ、移住定住の取組を

様々な資源を利活用しながら体制を作る — 町長

全 国的に人口減少や少子化・高齢化に歯止めが利かず、当町も例外ではない。洋上風力やRE100

まつまえ等への期待が高まっている。先を見据えた中で住民の暮らしのあり方を考えた時「コンパクトシティ」実現に向け具体的に動き始めるべきではないか

勇谷 コンパクトシティについては、「当町では行政区域も広く難しい」と過去に答弁していたが、具体的に考えるべきと思うが今の考えは

町長 海岸線40kmに及ぶ行政区域にあり、住む方の人権等も尊重しなければならず、難しいと考えています。コンパクトシティの考えは理解できますので、他の政策とあわせて方向性を考えていきたいと思っています。

勇谷 将来的にコンパクトシティを実現できれば、公共交通などの課題も解決で

きる。具体的にスピード感を持って取り組んでほしいと考えるが

町長 職員と一緒にスピード感を持って取り組んでいきたいと思っています。

勇谷 住んでみたいまちづくりとして、自然を売り物に、空家などを活用してワーケーションなどができる仕組みを作るべきではないか

町長 国等が実施した移住に関する調査では、地方への移住定住希望者の多くは雇用の場が確保されていることや、交通等の利便性を重要視しています。当町の現状としては、これらの条件を十分に満たしているとは言えない状況です。現在の取組も望んでいるような成果が出ていないところではあります。様々な資源を利活用しながら体制を作っていくと考えています。



清部の移住定住用の住宅も利用者はいるが成果には結びついていない

勇谷 今は町の政策の本気度が問われていると思います。今、そして将来に向けてスピード感を持って取り組むことが必要だと思いません。

町長 様々なプログラムを作りながら、1人でも2人でも松前町に住んでもらえるような体制づくりにスピード感を持って対応していきたいと思っています。



さい き りょう た 齋 木 良 太 議 員

問 持続可能なまちづくりのためにも 継続的なサービス提供を

高齢者人口推計をたて、 短・中期を想定した実施を目指す

町長

高 齢化率の上昇とともに介護サービス利用者のニーズの広がりが考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、「陽性時の外出は自己判断」「療養期間は推奨」など、介護者において感染症対策に苦慮する状況となっている。以上の状況を踏まえ町長に問う

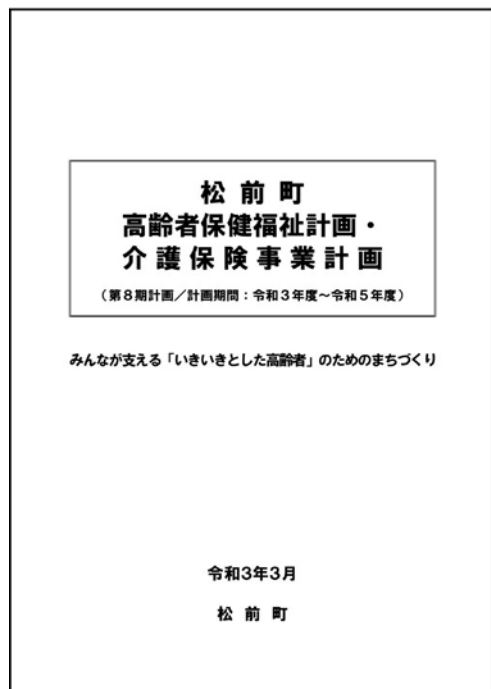
齋木 介護サービスは高齢化率上昇と共に多様なニーズが高まっている。継続的にサービスを提供することは重要と考えるが、町としての考え、また行政としての課題は

町長 介護サービスは町民を支えるために大変重要な責務であり、生活と生命を守るため現状に合わせて事業運営をしていきたいと思っています。人口減少問題を抱えている当町では、介護部門のみならず各産業や医療機関等も含め、人材確保の課題は町の大きな共通課題

だと認識しています。町独自の大まかな高齢者人口の推計をたて、短・中期を想定し、現状に即した介護サービス事業を実施していくことを目指しています。

齋木 家族介護用給付券、通称オムツ券の適用範囲の拡大への考えはあるか

町長 制度制定時から様々な状況が変わってきていると再認識しています。必要な支援を最大限していきたいと思いますが、常にコンプライアンスに基づき物事を判断しなければなりません。事業の財源となっている補助金が令和6年度からなくなるため、適用範囲の拡大については、検討の余地があります。財源に課題があります。事業継続を強く思うところですが、総合的に判断し、第9次計画の中で方針を定められればと思います。



高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画は今年度で更新される。時代に即した計画の策定が望まれる。

齋木 感染症の流行により、介護サービスが止まり、事業所の経済的な損失も大きかったと感じる。5類への移行に伴い、事業所への支援も打ち切りが考えられるが、町としての支援、援助は考えられないか

町長 町独自の支援制度は現在ありません。松前町全体の事業者支援を念頭に置きながら、公平性や財政推計を考慮して判断していきたいと思えます。

齋木 状況に応じて、支援にも優先順位があると考えられる。事業者が感染症発生時に即座に判断できるよう、目に見える支援をしてもらいたい

町長 場合によっては優先度で判断しなければならぬ状況もあると思います。担当職員と検討しながら最善の対応ができればと考えています。

さいとう まさる
齊藤 勝 議員



問 3期12年を受けて次への思いは!?

4期目には出馬しない

町長

石 山町政3期12年を踏まえて次の点について問う。

齊藤 病院の建替えについて町民から様々な声が出ているが

町長 現状では、資材の高騰やエネルギー価格の高騰もあり、町の財政にも相当な負担が強いられると予想されます。病院の経営や、町としての財政状況も含めて北海道の意見も聞きながら進めたいと考えています。

齊藤 松前城の建替えは石垣のレーザー計測が終わらねば着手できないのか。

めどはどのくらいを考えているのか

教育長 石垣カルテの作成は当初令和16年度までの事業を予定しており、それに伴い建替えも令和16年度からを予定していました。しかし、作業の遅れ等も出てきており、現状でいつまで

というはつきりとしたためどは示せない状況にあります。

齊藤 防災道路は国の予算がついて工事が始まるという認識で問題ないか。また、将来的な松前半島道路へつなげるなどの道筋は

町長 福島の町長とは、10年かかると言われているが7年、6年と1日でも早い完成を望んでいるところです。松前半島道路との接続については一定の時期が来たら議論を進めたいと思います。

齊藤 再生可能エネルギーの推進について、脱炭素の目標に向け、町長と職員が積極的に職員に啓発していくべきと思うが

町長 民間企業と情報を共有しながら今後も進めていきたいと思えます。



石山町長は今任期で勇退することを表明した。

齊藤 輸出制限などで水産業が厳しい状況のなかで漁業への指導を強化するべきでは

町長 輸出の減少によりナマコが値崩れを起こすような状況も考えられる。ALPS処理水による影響については国や道へも要望を行っていききたい。

齊藤 来年は合併70周年記念行事、姉妹都市締結40周年など大きな行事が待っている。4期目への出馬についてはどうか

町長 様々な事業において道筋が見えてきています。また、自分としても気力、体力の衰えを感じるころであり、4期目には出馬しないという判断をしたところです。

議会 トピックス

正副議長の表彰

伊藤幸司議長
堺繁光副議長

が北海道町村議会議長会から表彰状を授与されました。

この度、北海道町村議会議長会から伊藤幸司議長、堺繁光副議長に表彰状が授与されました。これは長年にわたり議長、そして議員として地方自治の発展に寄与されたものとして表彰されました。表彰状は第3回定例会開催前にそれぞれ手渡されました。



堺副議長



伊藤議長

議会広報研修会

8月17日に札幌市ポールスター札幌において、北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が開催されました。

当町からは議会運営委員会委員5名と議長が出席し、研修会では「広報紙を見てもらうためには」「どういった校正が目を引くのか」などの具体的な事例について講演がありました。今後により読みやすき手に取っていただけるような議会広報を目指し取り組んでいきます。



渡島・檜山管内 議員研修会

渡島・檜山町村議会議長会主催の議員研修会が北斗市「かなでくる」で開催され、9人の議員が出席しました。研修会では朝日新聞東京本社ネットワーク報道本部長の三島あずさ氏から「地方議会とハラスメント」、北海道経済部ゼロカーボン推進局風力担当局長西岡孝一郎氏から「ゼロカーボン北海道について」と題し講演をいただきました。



交通安全街頭啓発 林活育樹活動

9月23日に松前町議会議員会と森林・林業・林産業活性化議員連盟共催で交通安全街頭啓発と植樹箇所の草刈りを実施しました。当日は、役場管理職の会や、松前警察署、渡島西部森林室の皆さんにご協力をいただきながら各種取組を行いました。



第2回議会モニター 会議を開催しました。

9月28日に令和5年第2回議会モニター会議を開催しました。

当日は議会から正副議長と議会運営委員長が参加し、議会モニターの方々と意見をかわす中で疑問に思うことや第3回定例会での質疑の内容等について協議をしました。

※議会モニターからの主な意見は5ページに掲載しています。



議会日誌から

| 月 日 | 主 要 事 項 | 出 席 者 | |
|-----|----------|------------------------|------------|
| 7月 | 3日 | 第3回臨時会 | 全議員 |
| | 4～5日 | 北海道町村議会議長会主催議員研修会出席 | 伊藤議長ほか |
| | 7～8日 | さっぽろ松前会出席 | 伊藤議長 |
| | 12日 | 町内会連合会全体会議出席 | 伊藤議長 |
| | 14日 | 議会運営委員会 | 沼山委員長ほか |
| | 18日 | 渡島西部広域事務組合第1回臨時会 | 伊藤議長ほか |
| | 18～20日 | 新任議員研修会出席 | 齋木議員ほか |
| | 25日 | 渡島廃棄物処理広域連合議会第2回臨時会 | 伊藤議長ほか |
| 8月 | 26日 | 戦没者慰霊品(日章旗)返還式出席 | 伊藤議長 |
| | 4日 | 第15回あじさい祭り出席 | 伊藤議長 |
| | 7日 | 福島町九重部屋力士激励会出席 | 伊藤議長 |
| | 10日 | 福島町長選挙当選祝い | 伊藤議長 |
| | 14日 | 九重部屋力士激励会出席 | 伊藤議長 |
| | 16～18日 | 北海道町村議会議長会主催広報研修会出席 | 沼山委員長ほか |
| | 19～20日 | 福島県伊達市霊山太鼓まつり出席 | 伊藤議長ほか |
| | 24～25日 | 渡島・檜山議長連絡会議出席 | 伊藤議長 |
| 9月 | 29日 | 両常任委員会町内視察 | 飯田・福原委員長ほか |
| | 30日 | 両常任委員会町外視察 | 飯田・福原委員長ほか |
| | 1日 | 議会運営委員会 | 沼山委員長ほか |
| | 5～7日 | 第3回定例会 | 伊藤議長ほか |
| | 8日 | 新病院建設基本計画に関する調査特別委員会 | 福原委員長ほか |
| | 11～12日 | 北海道議会議場コンサート(松前神楽奏上)出席 | 伊藤議長 |
| | 20日 | 北進近江商人先達物故者追悼法要出席 | 伊藤議長 |
| | 23～24日 | 札幌小島会出席 | 伊藤議長 |
| | 23日 | 議員会交通安全街頭啓発・林活議連草刈活動 | 斉藤議員会長ほか |
| 10月 | 27日 | 第2回議会モニター会議出席 | 伊藤議長ほか |
| | 28日 | 長寿の集い出席 | 伊藤議長ほか |
| | 30～10月1日 | 東京松前会出席 | 伊藤議長 |

町政の
主人公は
皆さんです

議会を傍聴してみませんか？

手続きはかんたん！傍聴者カードに住所・氏名を記入するだけです。

二次の定例会は12月11日(月)からの予定です＝

編集後記

長かった新型コロナウイルスも一服し、六月下旬から九月上旬まで続いた、猛烈な暑さも九月六日の夜からの、台風並みの嵐と共に去り、松前の「初秋」を一気に連れてゆき「中秋」のたたまらないである。基幹産業の漁業も現在のところ芳しくない、物価高も影響し町民の暮らしは、極めて厳しいものを感じている。何か手立てはないものかと、模索する毎日である。山の木の実は不作のせい、クマの出没が連日のように報道されている。町民が被害に遭わないよう願うばかりだ。マクロ祭りが開催され、多くの観光客が来町し盛況だったと聞く、今後は迫りくる冬の寒さが心配だ。「暖冬」「小雪」を願ってはいるが、重機等で除雪作業に従事する人や、暖房用の灯油を販売する人にとっては「厳冬」「大雪」を期待しているのかも??少しでも町内の景気回復をと、行政に強く強く求めていきたい。

(九月中旬 M.S)